

WPT作業班における今後の検討方針への要望

2023年5月10日

BWFF

Broadband Wireless Forum

WPT作業班における今後の検討方針への要望

検討方針案：

- (1) 6.78MHz帯電界結合型WPTの制度化に向けた検討を早期に進めていただきたい。
- (2) 100kHz帯磁界結合型WPTの制度化は、WPCでの標準規格が成立するまでペンディングとさせていただきたい。
- (3) 500kHz帯電界結合型WPTは、事業化上の状況変化により提案を取り下げさせていただきます。

100kHz帯磁界結合型WPTに関する背景・理由：

- (共用化検討の状況)
 - 関係者からのご協力の元、中波放送、アマチュア無線、列車無線について共用検討を進めさせていただいた。
 - 列車無線（特に誘導式無線設備）に関しては、検討の結果、共用化のための必要な離隔距離が得られず、共用化が難しいとの結論に至った。
- (産業界の状況)
 - WPC（Wireless Power Consortium）における標準規格化が当初計画より遅れており、PC向けからスマホ向けへの急速充電へのユースケースを優先することになった。WPT仕様を見直せる状況にある。

今後の方向性についての案：

- 500kHz帯電界結合型WPTは、事業化上の状況により、制度化案件として取り下げさせていただきたい。
- 100kHz帯磁界結合型WPTの作業班議論は一旦終了させ、早期の制度化はペンディングとさせていただきたい。
- 共用検討の結果を元に、6.78MHz帯電界結合型WPTのみの制度化を早期に進めていただきたい。
- 100kHz帯磁界結合型WPTと6.78MHz帯電界結合型WPTに関するこれまでの共用検討の結果を報告書としてまとめていただき、公表をお願いしたい。特に、100kHz帯磁界結合型WPTについては、WPCへインプットし、WPT仕様の見直しに活用したいと考えている。100kHz帯磁界結合WPTに関する制度化議論については、WPCでの標準規格化の状況などを考慮し、必要に応じて、再開できるようにご配慮をお願いしたい。